



## 硬直した職員人事は 見直すべきである

若菜 道明  
議員

## 子育て支援センターの整備、 拡充にどう取り組むのか

矢加部茂晴  
議員

**問** 10年以上も同じ職場に留まっている職員もいる。マンネリ化は改めるべきである。

**市長公室長** 組織の活性化からも長く留まるのは好ましくない。指摘のような実態もある。今後解消していきたい。

**問** 人材育成基本方針が作成されているが市議会にも公表すべきである。また、人事評価は行っているのか。

**市長** 人材育成基本方針は市議会へも公表する。人事評価は国が導入する方針である。地方（筑後市）もこれにあつた対応をせねばならないと思っている。

### 市長など特別職への 調整手当支給は 止めるべきである

**問** 市長、助役などの特別職にも給料のほか調整手当が3%支給されている。国の基準では筑後市は支給対象地域ではない。広川町などは支給していない。筑

後市も止めるべきである。

**市長** 調整手当も総合的な財政健全化計画の中でトータル的に議論していく問題である。スタンドプレーは効果的だとは理解していない。

**問** 今後は補助金の削減など市民も痛みを負うことになる。調整手当の廃止などはまず市のリーダーが示すべきである。

**市長** 手法として私が率先することはいかなることかと思っている。トータルの議論する中での合意が必要である。

**問** 市長など特別職への報酬は審議会を開いて検討すべきである。

**市長** 報酬審議会は近く開催し、人件費の検討課題のひとつとしていく。



**問** 市長は2期目のローカルマニフェストにおいて、すぐに行う重要施策の優先順位の2番目として子育て支援の推進を掲げ、子育て支援センターのさらなる整備、拡充を行うとあるが。  
**市長** 子育て支援センターは、今市役所の敷地内にあるが手狭になり、もつと整備をする必要があると指摘を受けている。ぜひマニフェストの通り取り組むべく、すでに検討に入っている。

は実施状況を公表しなければならぬと法律にある。いつごろ、どういう形での公表を考えているか。  
**福祉事務所長** 新年度のできるだけ早い機会に、市の広報やホームページで公表することを考えている。

### 行財政改革の 進捗状況の公開は

**問** 財政健全化を図る過程

において、市民との情報共有や危機意識を共有することは大事であり、その上で、情報共有の方法として定期的な財政状況や改革の進捗状況の公開が考えられる。また、改善結果を示すことが市民の理解と参画を促す第一歩となる。

**総務部長** 財政健全化計画との比較みたいな形で8月以降に広報により周知する。

**福祉事務所長** 現在さまざまな角度から検討を重ねている。第1案が現在の支援センターの増築、第2案が市民の森公園の一角を利用した新設だが、あと2案程度検討中だ。整備時期については、できるだけ早く来年度予算に乗せたいと考えているが、まだ十分に検討した方がよいということになれば一年位遅れる可能性もある。

**問** 次世代育成支援行動計画は、少なくとも年に一回



子育て支援センターで開催されているおひさま教室